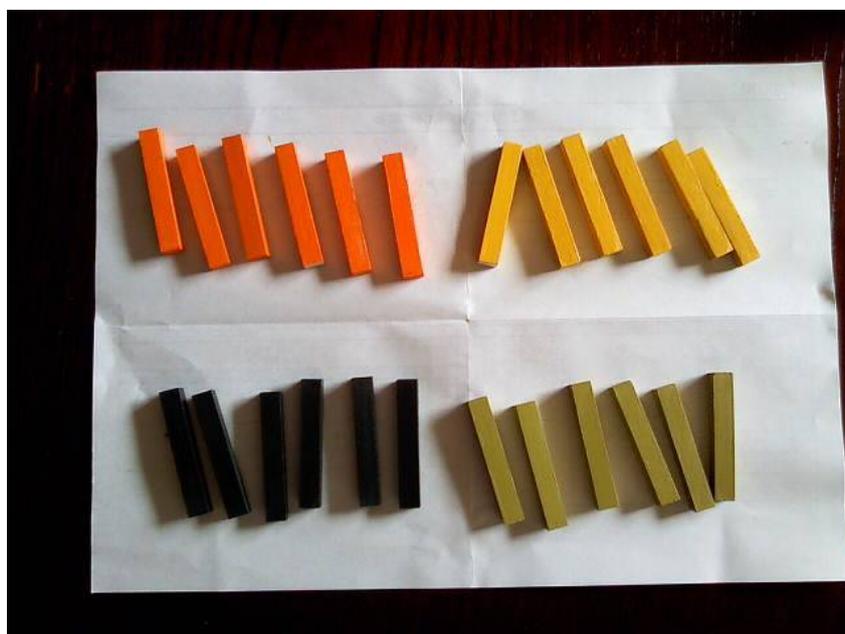
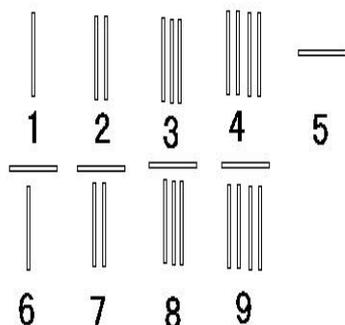


「算」＝「数」について

1. 「算」とは、

昔、中国から渡来した計算用具。
長方形（直方体）の小さい木片。
かぞえ棒のようなもの。

○数をかぞえること。
○はかること。計数の方法。
○うらない。



2. 学習指導要領の算数科の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象についての見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

（平成20年3月）

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を育てる。

（平成11年5月）

※内容的にどう変わったのかわかりにくいですが、どちらにしても「数での処理を重視」ではなく「量での処理が中心」という感じがする。

算数とは、

具体的な量を視覚的にとらえて、問題を解決していく学習である。

といえそうである。

※算数という用語は、中国の前漢時代に使用が始まったらしい。